



真城っ子

やさしさいっぱい

かしこさいっぱい

たくましさいっぱい



■真城小学校ホームページ■ 日々、真城小学校の様子や子どもたちの活動を投稿中。 **毎日チェック♡**

2学期『鍛えたところが強くなる 頭も体も心も』

2学期のキーワードは「鍛えたところが強くなる 頭も心も体も」です。子どもたちは、適度な負荷や挑戦を経験することで、確実に成長していきます。ただ楽しいだけの活動ではなく、「少し頑張ればできる」「考えれば乗り越えられる」そうした学びや体験を意図的につくっていくことが大切だと考えます。

(1)「学ぶ力を鍛える【知】」

特に大切にしたいのは「**書くことは、考えること**」という視点です。授業の中で書く活動をしっかり位置付けることで、子どもたちの思考力や表現力を育てていきます。また、書くことで自分の考えを整理し、振り返ることで学びを定着させることができます。**語彙力の向上**や、自学自習の質の向上にもつなげていきたいと思っています。

(2)「心と人間関係を鍛える【徳】」

子どもたち一人一人に「**居場所がある**」と感じられる学級づくりを進めていきます。いじめの未然防止、早期発見、早期対応はもちろんですが、それ以上に大切なのは、日常の中で**子ども同士が認め合い、支え合える関係**をつくることです。

そのために、教職員が子どもの小さな変化に気づき、丁寧に関わることを大切にしています。

(3)「体と実践力を鍛える【体】」

体育の授業だけでなく、日常の運動習慣や学校行事、そして各学年の特色ある学習を通して、子どもたちの**挑戦する力**を育てていきます。大切なのは、活動そのものではなく、「**やり遂げた**」という**実感**や「**できるようになった**」という**成長の自覚**です。振り返りを丁寧にを行い、次の目標につなげていきます。

令和8年度

2学期の学校経営

諫早市立真城小学校
R8.8.31 Takezoe

学校教育目標

「主体的な学び」と「徹底・継続、協働・協創」で、
「生きる力と豊かな人間性」を育てる

目指す児童像

- 思いやりがあり助け合う子ども（徳）
- よく考え工夫する子ども（知）
- たくましくやりぬく子ども（体）

7月までに築いてきた学級の基盤の上に、もう一段「子どもの確かな成長」という段を積み上げるのが、実りの秋、成長の秋です。一人一人の実りは保障できません。細かく観察し、必要な手当て（お世話）を行いましょう。気が抜けない11月を乗り越え、立派な収穫の感動を味わえるよう、チーム力で支え合い、励まし合って取り組んでいきましょう！

2学期の指導テーマ

鍛えたところが強くなる 頭も心も体も

一人一人に応じた「適度な負荷」をかけ、成長の機会をつくる

1 学ぶ力を鍛える【知】

「書くことは、考えること」

- 授業に「書く活動」を位置付ける
- 思考力・表現力・伝える力を育てる
- 書くことで学びを定着させる
- 振り返りを通して自己理解を深める
- 語彙を豊かにし、コミュニケーションの質を高める
- 自学・自習を工夫し、学習習慣を育てる

〈重点の取組〉

- 書く活動の充実で思考・表現を鍛える
- 授業力向上と語彙力向上の取組を推進
- 自学・自習の工夫と習慣化を図る

キーワード

授業改善・書く活動・語彙力・自学自習

2 心と人間関係を鍛える【徳】

「一人一人に居場所を」

- 命と互いを大切にすること
- いじめの早期発見・早期対応・早期解決
- 認め合い、助け合い、支え合う学級づくり
- 自尊感情・自己肯定感を育てる
- 基本的な生活習慣と規範意識を「徹底・継続」
- 子どもの小さな変化を見逃さない

〈重点の取組〉

- 命を大切にし、互いを大切にする関係づくり
- 一人一人の居場所がある学級集団づくり
- 基本的な生活習慣の定着（凡事徹底）

キーワード

居場所・支持的風土・自己肯定感・凡事徹底

3 体と実践力を鍛える【体】

「挑戦・体験を成長につなげる」

- 体育科の授業と日常の運動習慣を大切にすること
- 各学年の「スペシャルな学習」を充実させる
- 児童の実態から目標・めあてを明確にする
- 振り返りと計画修正で活動の質を高める
- 「やり遂げた満足感」「成長した自信」を育てる

〈重点の取組〉

- 体育と日常の運動習慣を大切にすること
- 各学年の行事・体験活動の質を高める
- 振り返りと計画修正で成長実感へ

キーワード

挑戦・体験・振り返り・成長実感

真城小職員「チーム丸」協働・協創

保護者

「子育てパートナー」として、傾聴・受容・共感

- 穏やかな対応を心がける
- 子どものプラスの様子を積極的に伝える
- 「先手を取れば説明、後手を引けば言い訳」悪いことほど先に伝え、報告する

職員

互いに支え合い、気持ちよく働く
効率化・メリハリ・協働

- C4thの活用、仕事のルーティン化
- メリハリをつけた勤務
- 互いに気持ちよく働ける言動・態度で、素敵な職場環境づくりを

地域

地域の力を最大限に活用
学校・家庭・地域の連携

- 令和9年度「学校運営協議会（洗心会）」への移行準備
- 「学校支援会議（洗心会）」との連携強化
- 地域内保育園、真崎小、真城中との連携強化

2学期、私たちが大切にすること

「徹底・継続」×「協働・協創」

子どもの小さな変化を見つけ、チームで支え、一人一人の「できた!」「成長した!」を増やす。

目指す姿

一人ひとりが主体的に学び、共に支え・磨き合いながら、夢を実現できる子どもの育成

思いやりがあり助け合う子ども（徳）

よく考え工夫する子ども（知）

たくましくやりぬく子ども（体）

チーム真城小で、子どもたちの未来を育てていきましょう！

2学期に一番大切にしたいことは、「**子どもの小さな変化を見逃さないこと**」です。できたこと、頑張ったこと、少しの成長、その一つ一つを丁寧に見取り、認め、つなげていくことで、子供たちを大きく伸ばしていきたいと思っています。

6年全国学力・学習状況調査

		国語	算数
小6	真城小	66	62
	県	61	55
	全国	60.9	56.4

本校6年生の成績です。国語、算数共に、全国や県の平均点を大きく超え、優秀な成績を残しました。これまでの小学校5年間、先生やお友達の話にしっかり耳を傾け、どんな課題にも諦めずに取り組み、知識・技能を身に付けるだけでなく、思考力や判断力、表現力を高めてきた成果だと思います。一方、このようなデータもあがってきました。

①1日当たり1時間以上勉強している割合は、小6が50.3%

→5年前の調査から10ポイント減

②SNSや動画視聴をしている時間、**1日当たり3時間以上**が、小6で37.3%

→利用時間が長いほど、各教科の平均正答率が低い



真城小の子どもたちの勤勉性、粘り強さ、向上心、自律心等の人間性を、しっかり鍛えていきたいと思えます。「鍛えたところが強くなる 頭も体も心も」です。

9月行事予定

- 1(火) 2学期始業式
- 7(月) 委員会活動(アルバム写真)
- 10(木)～16(水) 諫早市科学展
- 16(水)～18(金) 夏休み作品展
- 16(水) 4年長崎平和学習(平和公園等)
- 17(木) 授業参観・懇談(2・4・6・特支)
- 18(金) 授業参観・懇談(1・3・5)
- 29(火) 6年身体測定・視力検査
- 30(水) 5年身体測定視力検査

九・十月の生活重点目標
重点…廊下の歩き方
目標「廊下は静かに右側を歩こう」
一学期にも、徹底して指導を繰り返してきた指導事項です。事故防止の観点から、継続して指導を進めていきます。
また、公道での歩き方、横断の仕方、自転車乗車のルールについても指導していきます。

親が大切にしたい子へのアプローチ(前編)

1 「あいさつ」は「愛のメッセージ」

- あいさつは、相手に対して、こちらから心を開いて声をかける存在の承認です。あいさつで、「あなたのこと(存在)をしっかり見ていますよ」というメッセージを伝えます。毎日しっかりあいさつをすると、親子の絆は確実に太くなり、親の言葉が、子どもの心にすっと入るようになります。

2 自己肯定感と意欲を高める「自信」エネルギー

- ほめることで、子どもの自己肯定感や意欲が高まるのは事実です。しかし、やみくもにほめる、ほめるまでないことを大げさにほめたりすると逆効果。自分がどう感じたか、どのような影響を受けたかを、アイメッセージを込めて伝えましょう。

例)「ごみを拾ってくれて、**ありがとう**」「〇〇が手伝ってくれて、**お母さん助かるわ**」

「あなたの頑張る姿を見て、**私は元気をもらったよ**」

自分の言葉や行動が、人の役に立ったと知ると、自己肯定感や意欲につながります。

3 怒らないで「伝える」言葉かけ

- 人に言われて行動するより、自分で考えて行動したことの方が、学びや成長に繋がります。鏡で子の姿を映すように、言葉で事実を伝え、気づきをもたらし、行動へとつなげてみましょう。「待つこと」、「信じること」が大事になります。

例)「今日はずっとゲームしてるね。朝10時から始めて、もう3時間になるね」

「ずっとゲームして、勉強は大丈夫かしら、お母さんは心配だわ」